

累計約 23,000 件のトイレを設置 ネピア・ユニセフ支援キャンペーン 「ネピア 千のトイレプロジェクト／第 13 フェーズ・2020～2021」 ～いま、世界に必要な感染症予防。トイレづくりは、その力になります～

2020年11月1日～2021年1月31日まで日本全国で展開

王子ホールディングス株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：加来正年）、王子ネピア株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：用名浩之）は、開発途上国のトイレと水の問題を改善することを目的として、2008年に「ネピア 千のトイレプロジェクト」を立ち上げ、ユニセフ（国際連合児童基金）の東ティモール民主共和国（以下、東ティモール）における水と衛生の活動を支援してまいりました。

トイレづくりと水の支援が進むと、手も洗うことができ、衛生環境が改善され、感染症を防ぐことができます。衛生に携わる商品をお届けする王子ネピアは、世界の「トイレと水の問題」を見つめ、13年目を迎える本年も、本プロジェクトを継続実施いたします。



写真は東ティモール・アイナロ県ライメララウ集落にて撮影。
プロジェクトでつくられたトイレの前で手を洗う少女。

Photo by 小林紀晴



プロジェクト告知商品イメージ

「ネピア 千のトイレプロジェクト／第 13 フェーズ」では、2020年11月1日(日)から2021年1月31日(日)までのキャンペーン期間中の対象商品の売上の一部で、ユニセフの「水と衛生に関する支援活動」をサポートし、アジアで一番若い独立国である東ティモールを支援対象国として、屋外排泄の根絶と衛生意識の向上や衛生環境全般の改善を目指します。キャンペーンを広く知っていただくために、プロジェクト告知商品を日本全国で数量限定販売いたします。告知商品のパッケージには写真家・小林紀晴氏の写真を起用し、販売店のご協力のもと、店頭を通じた告知活動を行い、世界の「水と衛生の問題」への関心を高め、理解を深めることに努めてまいります。

王子ネピアは、「ネピア 千のトイレプロジェクト」にご賛同いただきました皆さまの想いととも、東ティモールの子どもたちとその家族の命・健康を守る活動を続けてまいります。

※屋外排泄の根絶：村の全世帯、全公共施設に改善されたトイレへのアクセスがあり、住民全員がトイレを使用していること。また、村に屋外排泄の形跡がないこと。衛生意識向上の活動に基づき、村を挙げた自発的なトイレ作りで、上記の基準を満たした村が、政府関連機関の認証のもと、屋外排泄の根絶宣言を行います。

<参考資料>

■ 千のトイレプロジェクトとは

「ネピア 千のトイレプロジェクト」は、東ティモールの人たちによる衛生改善を目指す活動です。王子ネピアは、商品の売上の一部で、東ティモールの衛生活動に取り組むユニセフのプログラムを支援。地元で手に入れることができる資材を集めて自分たちの力でトイレを作り、衛生的な環境を作り上げていく「CLTS (Community Led Total Sanitation)」という手法を使った支援を実施しています。

住民自身が、病気の原因となる屋外排泄の問題とトイレの必要性に気づき、衛生環境と衛生への意識を改善することを目指しています。



■ 支援対象国「東ティモール民主共和国」について

東ティモール民主共和国は、2002年5月に独立したアジアで一番若い国です。人口はおよそ126万人。国土面積は約14,900㎡。美しい海に囲まれたこの国は、18歳未満の人口が国民の約50%と若々しい活気に溢れていますが、独立前後の混乱で、もともと乏しかった国内のインフラに激しい打撃を受け、特に農村部では、医療や教育などの基本的なサービスの普及に時間を要しています。

また、ユニセフ「世界子供白書」によると、2018年時点ではまだ46%の人がトイレのない環境で暮らしています。



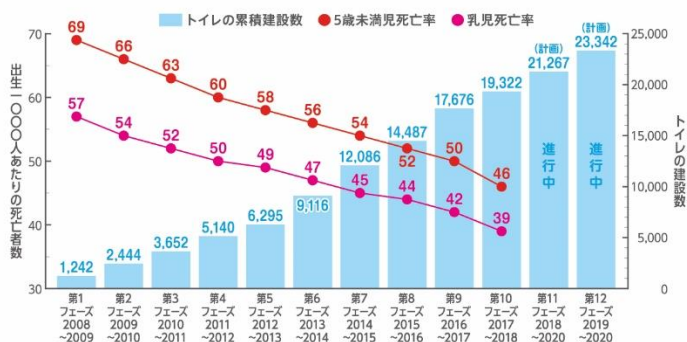
■ プロジェクトの実績

「ネピア 千のトイレプロジェクト」は、2008年の開始以来、支援対象国である東ティモールにおいて、累計約2万3,000件のトイレづくりが進行中です。また、学校や地域のトイレや給水設備が改善され、2021年3月末までに、約14万7,000人が安全で衛生的なトイレを使えるようになり、衛生的に暮らせるようになります。実際に、子どもの死亡率もこの10年間で3割も減っています。

13年間の活動は、確実に成果につながっており、国内全域でトイレ普及・屋外排泄の根絶の機運が高まっています。

王子ネピアが支援するユニセフの活動は、屋外排泄の根絶にとどまらず、さらなる衛生意識の向上や衛生環境全般の改善へと進んでいく予定です。

プロジェクトによるトイレ建設数の推移



死亡率推移の出典:「ユニセフ 世界子供白書2019-子どもの死亡率に関する指標」より
 ※2020年9月現在(建設中のトイレを含む)



寄付額

約2億円

※2008~2020年の総計



トイレづくり

約2万3,000件

※2008~2020年の総計
(建設中の数を含む)



屋外排泄
根絶宣言

61の村
408集落

※2008~2020年の総計
(建設中の数を含む)

■ 今年の活動

2021年3月31日までに、ユニセフの「水と衛生のプログラム」を通して、バウカウ県にある5村を対象に、衛生施設へのアクセスと利用状況の改善を行います。これにより、2,075件のトイレづくりと13,450人に安全で衛生的な暮らしを提供する予定です。



■ プロジェクトへの参加方法

2020年11月1日(日)から2021年1月31日(日)までのキャンペーン期間、対象となるネピア商品をお買い上げになるだけで、どなたでもキャンペーンに参加できます。また、郵便振替での募金でもこのキャンペーンに参加することができます。

郵便局(ゆうちょ銀行)振替口座: 00190-5-31000

郵便口座名義: (公財) 日本ユニセフ協会

※通信欄に「ネピア」と必ず明記ください

※窓口での募金の場合は、送金手数料が免除されます

郵便振替での募金の場合は、日本ユニセフ協会より領収書が発行されます。

(日本ユニセフ協会への寄付金は、特定公益増進法人への寄付として税制上の優遇措置の対象となります。詳しくは日本ユニセフ協会のホームページ (<http://www.unicef.or.jp>) をご覧ください。)

■ キャンペーン対象商品

ネピア プレミアムソフトティッシュ／ネピア プレミアムソフトトイレットロール／ネピアロングロール

ネピア鼻セレブティッシュ／ネピア おしりセレブトイレットロール

ネピアネピネピティッシュ／ネピア ネピネピトイレットロール／ネピア ネピネピメイトトイレットロール／ネピア におわん・におわにゃん消臭ロングトイレットロール



■ 小林紀晴氏について

1968年、長野県生まれ。アジアの旅先で出会った日本人の若者の姿を写真と文章で綴った「ASIAN JAPANESE」でデビュー。多くの若者の絶大な共感を呼ぶ。1997年度「DAYS ASIA」で日本写真協会新人賞受賞。2013年写真展「遠くから来た船」で第22回林忠彦賞受賞。日本で最も注目される写真家のひとりとして、次々と意欲的な創作に取り組んでいる。



■ 王子ホールディングスについて

1873年、日本で初めて本格的な近代産業として製紙業を開始した王子製紙は、2012年10月に持ち株会社への移行に伴い王子ホールディングスに商号変更しました。当社は創業以来、生活のさまざまな場で用いられる紙の安定供給を通じて文化に貢献するとともに、森のサイクル(海外植林)、紙のリサイクル(古紙リサイクル)の推進により積極的に環境保全に取り組んできました。「領域をこえ 未来へ」のローガンの下、持続可能な社会の実現を目指すため、革新的価値の提供を通じて環境・社会との共生を図り、人類世界の未来へ貢献していきます。

(<https://www.ojiholdings.co.jp>)

■ 王子ネピアについて

ティッシュやトイレットロール、紙おむつなどを製造・販売している王子ネピアでは『nepia Quality』を掲げ、3つの品質【生活品質、環境品質、社会品質】を追求しています。肌ざわりや使い心地(生活品質)の向上はもちろん、FSC®認証紙の積極的な採用を実施し、環境保全にも取り組んでいます。また、FSC®認証の普及促進に向けた啓発活動において、公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン(WWF ジャパン)と提携しています。(環境品質)。また社会貢献活動もひとつの品質(社会品質)と捉え、お客さまの想いと共に、様々な団体と協力しながら社会の課題解決への取り組みを展開しています。

(<https://www.nepia.co.jp>)

ネピアの紙は
森を守る紙 FSC®です。



- ユニセフについて
ユニセフ(UNICEF：国際連合児童基金)は、すべての子どもの権利と健やかな成長を促進するために活動する国連機関です。現在 190 の国と地域で、多くのパートナーと協力し、その理念を様々な形で世界中のあらゆる場所で、すべての子どもたちのために活動しています。
※ユニセフ国内委員会(ユニセフ協会)が活動する 33 の国と地域を含みます
※ユニセフの活動資金は、全ての個人や企業・団体からの募金や各国政府からの任意拠出金で支えられています
(<https://www.unicef.org>)

- 日本ユニセフ協会について
公益財団法人 日本ユニセフ協会は、先進工業国 33 の国と地域にあるユニセフ国内委員会のひとつで、日本国内において民間として唯一ユニセフを代表する組織として、ユニセフ活動の広報、募金活動、政策提言(アドボカシー)を担っています。
(<https://www.unicef.or.jp>)

◆本件に関するお問い合わせ先◆

＜報道機関の方＞

王子ネピア株式会社 マーケティング本部 ハウスホールドマーケティング部

TEL:03-3248-2855

＜一般消費者の方＞

ネピアお客様相談室 TEL:0120-985-041(土日・祝日などを除く)

ネピアホームページ <https://www.nepia.co.jp>